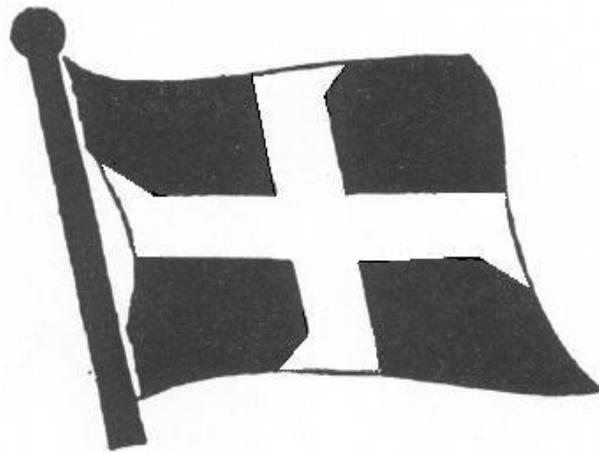


蒼穹
二
ユ
ー
ス

No.2

関西インカレ総括号

平成 21 年 5 月 25 日発行



~~~~ 目 次 ~~~~

1. 主 将 挨 拶
2. 監 督 挨 拶
3. 関西インカレ対校得点
4. 関西インカレ詳細
5. 新 入 部 員 紹 介

## 主将挨拶

去る4月30日に行われたハーフマラソンを皮切りに、5月17日の最終日まで5日間にわたり行われた関西インカレにおいて、京都大学陸上競技部は近年守り続けてきた1部の座を明け渡し、来年は1部昇格を目指す2部校として戦うという辛酸をなめる結果となりました。残留に向けて各部員がそれぞれ強い気持ちを持って挑み、ベストを更新する選手や、特に1500m、5000mの小山俊之(3)、棒高跳びの秋元一志(2)の活躍はチームに勢いを与え、残留へ少しずつ近づいていきましたが、1部校との戦力差の前にその思いは叶うには至りませんでした。このような結果をご報告することになり誠に申し訳ございません。

ただここで立ち止まったままではいられません。この悔しさをばねに七大会や東大戦をはじめとしたこれからの試合に向けて各パートが戦力の充実を図り、七大会の勝利と東大戦の連覇、そして来シーズンの関西インカレの1部昇格を目指しながら、更なる練習に励みます。

最後になりましたが、ご多忙の中、応援してくださった蒼穹会の皆様に部を代表して感謝、御礼を申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援、ご声援を賜れますよう、よろしく願いいたします。

京都大学陸上競技部主将

佐藤 慎祐

## 監督挨拶

関西インカレが終わりました。

我が部は、男子1部において総合12位。大会前に掲げておりました1部残留という目標には遠く及ばない、非常に厳しい結果になりました。

昨年度の大会からの一年間を振り返りますと、チーム全体の意識として危機感・緊張感に欠けていたことが、今回の敗北を招いた大きな要因であったと感じています。今後は、常に中長期的な視野に立ち、かつ、強い危機感を持って日々の練習に取り組んでいくことが必要になると考えます。2カ月先の七大戦はもちろんのこと、来年の関西インカレに向けての戦いは、既に始まっているのです。

女子部も含め、今のチームには力のある選手が多くいます。必ずや、この敗北を糧に、勝利を掴んでくれるものと信じています。

当日は多くの先輩方にお越しいただきまして、誠にありがとうございました。今後とも御支援・ご声援のほど、よろしく願いいたします。

京都大学陸上競技部監督

平子 達也

## 第86回関西学生陸上競技対校選手権大会

### 男子1部総合成績

|     |       |        |
|-----|-------|--------|
| 1位  | 立命館大  | 169点   |
| 2位  | 大阪体育大 | 128.5点 |
| 3位  | 京都産業大 | 120点   |
| 4位  | 関西学院大 | 105.5点 |
| 5位  | 天理大   | 75点    |
| 6位  | 関西大   | 61.5点  |
| 7位  | 同志社大  | 49点    |
| 8位  | 龍谷大   | 47.5点  |
| 9位  | 近畿大   | 25点    |
| 10位 | 大阪大   | 24点    |
| 11位 | 摂南大   | 20点    |
| 12位 | 京都大   | 7点     |

### 男子1部トラックの部

|     |       |      |
|-----|-------|------|
| 1位  | 立命館大  | 141点 |
| 2位  | 京都産業大 | 85点  |
| 3位  | 関西学院大 | 71点  |
| 12位 | 京都大   | 6点   |

### 男子1部フィールドの部

|     |       |       |
|-----|-------|-------|
| 1位  | 天理大   | 64点   |
| 2位  | 大阪体育大 | 54.5点 |
| 3位  | 京都産業大 | 35点   |
| 11位 | 京都大   | 1点    |

### 男子1部混成の部

|    |       |     |
|----|-------|-----|
| 1位 | 大阪体育大 | 15点 |
| 2位 | 同志社大  | 9点  |
| 3位 | 関西学院大 | 8点  |
|    | 京都大   | 0点  |

### 男子2部総合成績 (上位のみ)

|    |       |      |
|----|-------|------|
| 1位 | 大阪教育大 | 123点 |
| 2位 | 京都教育大 | 116点 |
| 3位 | びわスポ大 | 97点  |
| 4位 | 神戸大   | 92点  |
| 5位 | 大阪経済大 | 69点  |
| 6位 | 関西外語大 | 49点  |
| 7位 | 大阪産業大 | 39点  |
| 8位 | 大阪国際大 | 28点  |

### 女子総合成績

|    |        |      |
|----|--------|------|
| 1位 | 武庫川女子大 | 129点 |
| 2位 | 立命館大   | 126点 |
| 3位 | 大阪体育大  | 106点 |

## 関西インカレ詳細

### 第1日目 4月30日(土) 長居公園周回

|     |       |        |         |
|-----|-------|--------|---------|
| 1位  | 西野 智也 | 立命館大4  | 1:06:47 |
| 2位  | 関谷 宜輝 | 京都産業大4 | 1:07:06 |
| 3位  | 藤原 庸平 | 立命館大4  | 1:07:18 |
| 9位  | 小山 裕之 | 京都大4   | 1:11:56 |
| 17位 | 櫻井 研吾 | 京都大4   | 1:12:38 |
| 20位 | 宇部 達  | 京都大D2  | 1:16:14 |

### ハーフマラソン決勝

今年も例年のように日差しの強い暑い日に行われた。

序盤は小山が果敢に先頭集団に付き入賞を狙う。櫻井宇部は第2集団から前を追う展開になる。厳しい気候のせいか宇部は5km過ぎに足を痙攣させ集団から離れてしまい我慢のレースに。小山は5kmを15分30秒前後と先頭のハイペースで10km過ぎに集団に付けなくなり離されてしまう。その中で櫻井はきついなながらも順調に走り、ちょうど15km地点で小山に追い付く。が、残り500m付近で足がつってしまい止まりかけながらも力を振り絞りなんとかゴールへ。小山宇部も最後まで諦めることなく走り切った。過酷な条件の中でのレースで三選手は力の限りを尽くして走った。ポイント獲得とはならなかったものの、小山櫻井宇部の諦めない姿勢はトラックの部を控える京大チームを勢いづかせる走りであった。(櫻井)

### 対校得点(1日目終了時点)

|    |       |     |
|----|-------|-----|
| 1位 | 立命館大  | 19点 |
| 2位 | 京都産業大 | 8点  |
| 3位 | 関西大   | 4点  |
| 4位 | 関西学院大 | 3点  |

### 第2日目 5月8日(金)西京極陸上競技場

### 女子100m予選(6組3着+6)

富田 夏希(4) 5組6着 13.00(+2.1)

女子100mに登場したのは今期調子が上がり続

けている富田。レース前には京都インカレよりも調子が良さそうだと語っていたが、風が強く気温も低い悪条件であった。号砲とともにきれいなスタートを切った富田。中盤以降もスピードに乗り他大学のハイレベルな選手相手に粘りを見せ6着でフィニッシュ。準決勝進出は果たせなかったが、今後の活躍を期待させる走りであった。(山口咲)

### 100m予選(4組3着+4)

吉田 繁治(3) 2組7着 10.96(+0.7)  
久保 慶護(4) 3組5着 11.05(+0.9)PB

前日までの雨も上がり、穏やかな気候の中行われた100m予選。久保はスタートで他大学の選手に遅れをとるも、中盤から伸びを見せ快走。惜しくも10秒台を逃したが見事に自己ベストを更新した。吉田は序盤から果敢に攻めていくが怪我により調子が上がらないのか上位選手に遅れを取り10秒台でゴールするも7着。まだまだポテンシャルを発揮できていない吉田、七大戦での活躍に期待したい。(大橋)

### 女子800m予選(6組1着+2)

岩橋 優(1) 6組5着 2.20.20 **蒼穹新**

レース後、岩橋からは安堵の笑顔が見受けられた。インハイセミファイナリストの実力はもつものの、本格的に練習を始めてまだ1ヶ月ということもあり少々緊張気味だったが、冷静かつ積極的な走りで応援席を盛り上げた。400mを67秒で通過し、ラスト300mで持ち前のスパート。徐々に前との距離を縮め、力を振り絞りラストの直線を駆け抜けた。蒼穹新記録での華々しいデビューを飾った彼女の今後の活躍に大きな期待がかかる。(山添)



大学初レースで蒼穹新の華々しいデビューを飾った岩橋

秋元一志・吉川直樹・久保慶護・吉田繁治  
2組6着 41.99

今期波に乗る1走秋元。ここでも得意のスタートで飛び出すとスピードに乗ったまま2走吉川へ。吉川が早く出たのか、一瞬ヒヤリとするがギリギリのタイミングで渡る。そのまま加速に乗りバトンは3走久保へ。しかしここで久保が早く出てしまう。失速する形で何とかバトン繋ぐも他校に差をつけられてしまった。4走吉田へのバトンは無難に繋がり、最後はエースらしい素晴らしい猛追を見せるが一步及ばず。それでも改善の余地を残しての41秒台、エース吉田の復帰、秋元の好調などこれからのレースに期待を持たせるレースであった。(天ヶ瀬)

### 800m 予選(4組1着+4)

|           |      |           |
|-----------|------|-----------|
| 佐藤 翔士(M1) | 4組4着 | 1. 58. 44 |
| 大川 亮(2)   | 2組5着 | 1. 58. 66 |

例年と違い、準決勝がなくなり予選・決勝となった男子800mは、着順争いが激しくなり、前半からの速い展開が予想されていた。その中、今シーズン好調の大川は2組に出場し、1周目から果敢に攻めるレースで、ベスト更新はならないものの、勢いのある走りを見せてくれた。4組でも佐藤が積極的なレースを展開し、1周目を56秒で通過。決勝進出を狙うレース運びだったが、残念ながらラスト100mで失速、上のラウンドには進めなかった。(内田)

### 400m 予選(4組3着+4)

萩生 翔大(3) DNF

今シーズンの初戦で失敗レースと言いつつも自己ベスト49'20を出した萩生。続く京都インカレでは惜しくもベストの更新はならなかったため今大会ではベストの更新を狙っていた。スタートと同時に格上の選手相手に対し引けをとらない奮走を見せる。だが200mを過ぎたところで力んでしまったのか、脚に支障を来してしまい途中棄権をせざるを得なくなる。この結果で一番悔しいのは彼自身であろう。一刻も早い復活を願う。(川室)

### 4×100mR 予選(2組3着+2)

### ハンマー投決勝

|     |              |       |
|-----|--------------|-------|
| 1位  | 山田 嘉亮(天理大4)  | 58m03 |
| 2位  | 加藤 大樹(立命館大3) | 57m81 |
| 3位  | 小西 隆市(天理大4)  | 55m71 |
| 18位 | 田中 聡一(京都大D1) | 40m65 |

田中[×-40m65-×]

早朝からの小雨で気温の上がらないままハンマー投は始まった。この種目には田中聡が出場した。1投目はリラックスした姿勢を維持した投擲であったがターンの加速のタイミングが合わず失速。2投目は先の違和感を気にしてか、力んでしまうが40mを超えてきた。3投目は長めの間を取りスタート。ターンの後半で緊張のためか加速のタイミングがずれ振り切ることができずファール。結果2ファールではあったが、40mを超える投擲を見せ勝負強さを発揮した。(矢川)

### 十種競技(前半)

三浦 裕介(M1) 2586点  
[100m12.49 (-0.6) (558)-LJ5.92 (+2.3) (569)  
SP9.90 (480)-HJ1.70 (544)-400m59.36 (435)]

全種目の先陣を切って行われた男子十種競技。京大からは三浦が出場した。1種目め100m、小気味よく加速していくが60m地点で異変が。明らかに失速し、ゴール後に足を引きずるような仕草を見せる。競技続行が危ぶまれたが、昨年この種目8位の意地かここから立て直す。大腿にテーピングを施しながらも2種目目・走幅跳は6m付近でまとめ、砲丸投げではなんと自己新。走高跳

は負傷が響いたか 1m70 に終わるが、1 日目最終種目 400m、脚をかばう形になりながらも気迫の走りですっかりと完走。全体 12 位で折り返し、後半に期待を持たせた。(山口芳)

### 対校得点(2日目終了時点)

|     |        |      |
|-----|--------|------|
| 1 位 | 立命館大学  | 36 点 |
| 2 位 | 天理大学   | 18 点 |
| 3 位 | 大阪体育大学 | 16 点 |
| 8 位 | 京都大学   | 0 点  |

### 第 3 日目 5 月 9 日(土)西京極陸上競技場

#### 5000m 決勝

|      |                |            |
|------|----------------|------------|
| 1 位  | 三岡 大樹(京都産業大 3) | 14. 18. 29 |
| 2 位  | 林 和貴(京都産業大 3)  | 14. 20. 62 |
| 3 位  | 田中 裕之(立命館大 2)  | 14. 29. 29 |
| 8 位  | 小山 俊之(京都大 3)   | 14. 54. 64 |
| 20 位 | 田中 裕介(京都大 M2)  | 15. 56. 92 |

灼熱の太陽の元に始まった 5000m 決勝。高温にも関わらずハイペースの先頭に食らい付いていくも、田中は 1000m 過ぎに、小山も 2000m を過ぎたあたりで放されてしまう。田中は苦しい試合展開を余儀なくされながらも、気迫のこもった走りでレースを終えた。小山は苦しみながらも 8 位を射程圏内に捉えたままラスト 1 周に突入し、持ち前のスピードで抜き去り 8 位でゴールに飛び込んだ。これが京大の初得点となり、沈み込みつつあったチームに一陣の風を吹き入れることとなった。(中村)

#### 10000mW 決勝

|      |                |              |
|------|----------------|--------------|
| 1 位  | 鶴崎健太郎(同志社大 2)  | 46. 56. 53   |
| 2 位  | 本馬 一樹(摂南大 3)   | 48. 16. 87   |
| 3 位  | 井伊 拓哉(大阪体育大 4) | 45. 20. 98   |
| 9 位  | 生谷 隆磨(京都大 3)   | 51. 14. 96PB |
| 12 位 | 菊川 信人(京都大 M2)  | 54. 54. 95   |
|      | 永田 和寛(京都大 1)   | DSQ          |

10000mW には菊川・生谷・永田が出場した。前年度覇者の廣江の穴を埋められるかどうか焦点となるレースであった。関カレ初出場となる生谷は、積極的なスタートをし、常に入賞圏内

レースを運んだ。惜しくも入賞を逃したものの、自己ベストを 3 分以上更新する見事な試合であった。昨年度失格という悔しい結果に終わった菊川は、雪辱すべく挑み、暑さに苦しむも無事に歩き切った。1 回生の永田は、関カレの雰囲気飲まれてしまったのか残念ながら失格となってしまったが、今後の活躍に期待したい。(市塚)

#### 砲丸投決勝

|      |                    |        |
|------|--------------------|--------|
| 1 位  | 吉岡 賢吾(大阪体育大 4)     | 15. 69 |
| 2 位  | 今泉 仁(龍谷大 4)        | 15. 16 |
| 3 位  | 東 祐介(京都産業大 3)      | 14. 31 |
| 19 位 | 嶋田研志郎(京都大 4)       | 11. 21 |
|      | 嶋田 [10m55-×-11m21] |        |

砲丸投には嶋田が出場。雲一つない晴天の下、定刻を待たずに競技は開始された。緊張を振り払うかのような相変わらずの気合の入った 1 投目であったが、リリースのタイミングがずれ、本人も納得していない様子。気合いを入れなおして臨んだ 2 投目は右へ大きく抜け、ファール。3 投目はこれまでの投擲に修正を加えうまくまとめるも、自己ベストには一歩及ばなかった。今回の反省を生かし、七大戦に向け更なる成長が期待される。(川島)

#### 三段跳決勝

|     |               |                  |
|-----|---------------|------------------|
| 1 位 | 花谷 昂(大阪大 4)   | 16. 19(+1. 3)NGR |
| 2 位 | 松田 晋治(天理大 4)  | 15. 29(-0. 4)    |
| 3 位 | 安藤 太一(同志社大 1) | 15. 25(+0. 7)    |
|     | 秋山 源(京都大 4)   | NM               |
|     | 秋山 [×-×-×]    |                  |

六月下旬のような暑さの中、三段跳には秋山が出場。安定しない風の影響もあり、1 本目は惜しくもファール。しかしベストを越えるかのような跳躍をみせる。期待のかかる 2 本目、いい感じに助走し、10cm の誤差もなく踏み切り板にのる。だが、ホップで高く跳びすぎてしまいステップがつぶれてしまったため、最後まで跳躍できなかった。そして、この跳躍で左足を痛めてしまう。応急処置を施し挑んだ 3 本目だったが、ホップの時点で足が痛み記録なしに終わってしまった。1 本目大きなジャンプが見られただけに惜しい結果になってしまったが、悔しさをバネに今後の活躍を期待したい。(秋元)

## 十種競技(後半)

三浦 裕介(M1) 2425 点  
[110mH 17.74(+0.6) (549)-DT28.94 (444)-PV3.70 (535)-JT40.71 (451)PB-1500m5.20.89 (445)]

2日目の最初の種目は110mH、足の怪我が心配されたが何とか無事に走りきり、次につなげた。続く円盤投、棒高跳は本番前の練習では不安を残したが本番では意地を見せ、まずまずの記録で得点を重ねる。苦手とする槍投では自己ベストを約2m更新する40mオーバーの力投。ラストの1500m、ボロボロの身体でありながら応援を最後の力として転化し、ついに2日間を戦い抜いた。得点にこそ絡むことはできなかったが最後まで投げ出さず諦めない姿は他の部員を大いに奮い立たせた。(田中皓)

## 対校得点(3日目終了時点)

|     |        |     |
|-----|--------|-----|
| 1位  | 立命館大学  | 85点 |
| 2位  | 京都産業大学 | 63点 |
| 3位  | 大阪体育大学 | 51点 |
| 12位 | 京都大学   | 1点  |

第4日目 5月16日(土)

## 長居第2陸上競技場

### 110mH 予選(3組2着+2)

藤田 俊輔(M1) 1組6着 15.38(-0.9)CB  
大橋 正義(2) 2組7着 16.77(-0.9)

1組目に登場した藤田は、今年の今大会で4位入賞している実力者である。スタートから持ち前の華麗なハードリングで他大学の選手に喰らい付くも、長いブランクの影響もあり少しずつ離され6着でゴール。2組目に登場の大橋は藤田の指導によりハードリングは上達していたがハムストリングスに不安を抱えてのレースとなった。やはり他大学の選手との実力差があり大きく離されるも諦めることなく走りきり、大学ベストタイ記録でゴール。この大舞台での経験を今後にかけてほしい。(前田靖)

### 女子200m 予選(4組3着+4)

廣瀬 亜由美(4) 1組8着 28.82(-1.0)

小雨が降り始め少々肌寒い天気の中、女子200m走が行われた。先日行われた京カレ100m走で自己ベストを叩き出し、調子の良い廣瀬。タイミングよくスタートを決めカーブでうまくスピードに乗るものの、直線にさしかかった頃から遅れだしてしまった。最後の直線で粘りを見せるものの一步及ばず、今回は悔いが残る結果となってしまった。しかし、今後の伸びが期待されることは間違いなく、七大戦においては十分な活躍が望まれる。(松井)

### 200m 予選(4組3着+4)

吉田 繁治(3) 3組7着 22.24(-1.0)  
萩生 翔太(3) DNS

曇り空で気温の上がない中行われた男子200m予選。萩生は400mで脚を痛めたためこのレースを棄権しマイルリレーに集中することとなった。吉田は100m、4×100mRに続き3種目目の出場となった。勢いよく飛び出すコーナーの途中から走りが崩れ、前との差が開き始める。直線で粘るも差は詰められずフィニッシュ。まだまだ本来の走りに戻ってはいないがレース前調子が悪いと語っていた本人の予想ほど記録は悪くない。今後の復調に期待がかかる。(前田峰)

### 1500m 予選(2組4着+4)

小山 俊之(3) 1組3着通過 3.51.65  
櫻井 研吾(4) 2組12着 4.05.54PB

1500mには小山(俊)と櫻井が出場した。1組目の小山(俊)はハイペースの序盤は力を使わず、後方につけていたが、徐々に前との差を詰め、ラスト一周に入る頃には5番手につけた。ラスト300mからスパート合戦が始まると、普段の勝負強さをみせ、組3位で決勝進出を決めた。1組目とは一転してスローになった2組目。全員が一塊で走る中、後方につけた櫻井は「自分のペースだった」と話すように一周66秒で刻み、4'05"54の自己ベストを記録し、今後の試合に弾みをつけた。(板垣)

### 3000mSC 決勝

1位 中津 匡嗣 (大阪体育大3) 9.00.36

|     |                 |           |
|-----|-----------------|-----------|
| 2位  | 中嶋 聖善 (立命館大 M2) | 9.01.05   |
| 3位  | 寺崎 宏紀 (立命館大 4)  | 9.06.37   |
| 14位 | 近藤 学宏 (京都大 M1)  | 9.42.80   |
| 16位 | 山田 唯 (京都大 3)    | 9.48.91   |
| 17位 | 中村 秀樹 (京都大 2)   | 9.50.04CB |

得点の期待がかかった 3000mSC。しかし脚に不安のある近藤、山田は対校戦初出場となる中村とともに集団後方でレースを進める。山田、中村は早い段階で付けなくなり、近藤は集団と小差で粘るも 2000m 過ぎに急激にペースダウンし、そのまま上位との差を詰められぬままフィニッシュ。厳しいレースとなったが、怪我の中耐え抜いた近藤と山田、昨年の不振を払拭する記録を残した中村、3選手の頑張りには次につながるものであった。(中桐)

#### 4×400mR 予選 (2組 3着+2)

萩生翔大・佐藤翔士・山口芳弘・藤崎淳  
1組 6着 3.20.81

1走の萩生は前半から積極的な走りをし、強豪校にひけをとらない好走を見せ2走の佐藤へ。佐藤は前の選手についていき、引き離されることなく山口へ。山口は遅れを取り戻すべく、前半からかなり飛ばして前のチームに食らいつく。しかし流石に後半は疲れが見え、失速してしまうが無事アンカーの藤崎へバトンを託す。藤崎も積極的に前半から飛ばしたが、追いつくことができなかった。強豪校との差を痛感させられた結果となったが、積極的なレースであった。(山田諒)

#### 女子走幅跳決勝

|     |                     |            |
|-----|---------------------|------------|
| 1位  | 杉本和那美 (京都教育大 M3)    | 5.88(-0.3) |
| 2位  | 三木茉莉奈 (立命館大 1)      | 5.77(-0.4) |
| 3位  | 中村 悠子 (関西大 4)       | 5.73(-0.4) |
| 29位 | 富田 夏希 (京都大 4)       | 4.60(-0.2) |
|     | 富田 [×-4.60(-0.2)-×] |            |

今期は 100m でベストを更新するなど、好調な富田。気温が上がらない中で競技は始まった。1本目は数 cm のファールであったが 5m を超える跳躍を見せる。しかし 2本目は踏切板の大きく手前で踏み切り、記録は 4m60 にとどまる。3本目に 5m を超えてきたがまたもやファールであった。調子の良さはうかがえたものの走幅跳の難しさを痛感した試合となった。(小長谷)

#### 棒高跳決勝

|    |                 |      |
|----|-----------------|------|
| 1位 | 萩田 大樹 (関西学院大 4) | 5.45 |
| 2位 | 菅原 大我 (関西大 4)   | 5.10 |
| 3位 | 森田 竜司 (大阪体育大 4) | 4.80 |
| 8位 | 秋元 一志 (京都大 2)   | 4.40 |
|    | 田中 皓介 (京都大 2)   | NM   |

男子棒高跳には蒼穹記録コンビの秋元、田中が出場した。2人は最初の高さである 4m40 から登場。田中は惜しい跳躍はあったが高さが出ず、記録無しに終わった。秋元は練習跳躍から調子が良く、余裕を持って 4m40 をクリアする。続く 4m60 は蒼穹新記録であり 8位入賞のボーダーラインと予想されていたため何としても跳びたかったが惜しくもクリアはならなかった。ところが上位陣が失敗を多発し、本人も驚きの 8位入賞となり貴重な 1点をもぎ取った。今後お互い切磋琢磨し更なる活躍を期待したい。(小西)



8位入賞を果たした秋元

#### 円盤投決勝

|     |                        |         |
|-----|------------------------|---------|
| 1位  | 中島 光博 (大阪体育大 4)        | 47.85   |
| 2位  | 中窪 克彰 (京都産業大 4)        | 45.73   |
| 3位  | 今泉 仁 (龍谷大 4)           | 42.12   |
| 14位 | 矢川 勝太 (京都大 2)          | 31.70PB |
|     | 矢川 [31.60-30.61-31.70] |         |

円盤投げには矢川が出場。やや肌寒い曇り空の下、定刻を待たずして試技が開始。練習では 33m 近い投擲を見せていただけに、大幅なベスト更新が期待された。1投目は小さなターンとなっ

もうも、31mを越えるベスト。2投目・3投目、気合いは入るも腰の入らない投擲になってしまうが、3投目で再びベストを更新する。まだまだ本来の実力を発揮出来ていないが、七大戦での更なる飛躍が期待される。(川島)

### 対校得点(4日目終了時点)

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 1位  | 立命館大学  | 118点   |
| 2位  | 大阪体育大学 | 100.5点 |
| 3位  | 京都産業大学 | 75点    |
| 12位 | 京都大学   | 2点     |

第5日目 5月17日(日)

### 長居第2陸上競技場

#### 400mH 予選 (3組2着+2)

山口 芳弘(2) 2組6着 57.87

悪天候の中始まった関西インカレ最終日。山口が出場した400mHは本日最初の種目。良いスタートをきった山口は積極的な飛び出しを見せリラックスして前半を走る。しかしハードル5台目で体勢を崩し、7台目を倒してしまう。最後まで粘ったものの、惜しくもベストとはならなかった。ハードリング技術を向上させ、以後の試合での活躍を期待する。(白石)

#### 1500m 決勝

|    |                |         |
|----|----------------|---------|
| 1位 | 今崎 俊樹 (立命館大1)  | 3.53.10 |
| 2位 | 奥田 道雄 (龍谷大1)   | 3.55.05 |
| 3位 | 笠井 浩一 (大阪体育大4) | 3.55.34 |
| 4位 | 小山 俊之 (京都大3)   | 3.55.86 |

決勝には前日の予選で快走した小山俊が出場。序盤は後方で落ち着いた走りをみせる。二周目、集団のペースが落ち、68秒で通過したところで徐々にペースをあげ先頭に立つ。が、しかし、残り500mをきった辺りで立命館大今崎のスパートに対応しきれず離されてしまう。最後の一周は熾烈な二着争い。スパートをかけるのが少し早かったのか、二人にかわされ四位に後退。さらに残りわずかで立命館大小野にも迫られるが、最後は粘りをみせ4着でフィニッシュ。京大に貴重な得点をもたらしてくれた。(大川)



京大に貴重な得点をもたらした小山俊

#### 10000m 決勝

|     |                |            |
|-----|----------------|------------|
| 1位  | 三岡 大樹 (京都産業大3) | 29.47.13   |
| 2位  | 林 和貴 (京都産業大3)  | 30.04.93   |
| 3位  | 西野 智也 (立命館大4)  | 30.05.66   |
| 11位 | 小山 裕之 (京都大4)   | 31.37.74PB |

髪を切り、気合いの入った小山。ハーフに続いて関カレ2種目の出場となる。スタートから一キロ3分を切るハイペースな展開となった。最初は先頭集団についていくものの、徐々に離れていき自分のペースでレースを進めていく。先頭集団から落ちてくる選手を一人ずつ捕らえていき、粘り強い走りを見せる。ラスト1000mを、3分4秒まで上げ、最後の力を振り絞る。悪天候の中、自己ベストを更新し、さらなる活躍を思わせる走りであった。(上田)



粘り強い走りでベストを更新した小山裕

## 佐藤[48.98-×-45.65]

雨。長居競技場で行われた関西インカレはその最終日、午前中もちこたえていた天気がついに崩れ、投擲種目にとっては劣悪な環境でやり投が開始された。出場した佐藤は練習投擲では助走を入念に確認。最近の不調が懸念される中、京都インカレ時よりは感覚を取り戻したようであった。雨にさらされながらの一投目、うまく助走で加速したがリリースでうまく力が伝わらず 50m 手前に落下。二投目はスピードに乗り切れずやはり失速してしまう。三投目は力みが入ってしまったのか、低い軌道の投擲になってしまいショート。コンディションの不運もあり、納得のいく競技にすることができなかった佐藤は今回の二部降格と自らの不調を鑑み、残る今期の対校戦に改めて全力で望むことを決意した。(矢川)

## 走幅跳決勝

|     |                                       |              |
|-----|---------------------------------------|--------------|
| 1位  | 東 孝一(天理大3)                            | 7.60(+4.2)   |
| 2位  | 吉村 宏基(摂南大1)                           | 7.54(+2.5)   |
| 3位  | 中村 紘平(関西学院大4)                         | 7.49(+2.0)   |
| 17位 | 谷口 康晴(京都大4)                           | 6.84(+0.6)PB |
|     | 谷口 [6.35(+3.7)-6.84(+0.6)-6.56(+3.1)] |              |

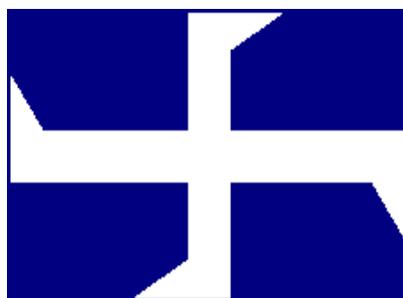
今にも雨が降り出しそうな空の下、走幅跳のピットに颯爽と谷口があらわれた。緊張しているのか、足合わせの跳躍には固さがみえた。小雨がぱらつく中の一本目、強風のためか板の手前での踏み切りとなったが、大きな空中動作で 6m35。好調そうな跳躍に、応援席の期待も高まる。大声援の中の二本目、今度はしっかりと足も合い、6m84の自己ベストとなる大ジャンプとなった。7mへの期待が高まる三本目は、勢い余って力みの入った跳躍になってしまったが、少し寒さの残るコンディションのなか、見事な結果を残した。七大戦でのさらなる活躍に期待したい。(松室)

## やり投決勝

|     |               |       |
|-----|---------------|-------|
| 1位  | 三吉 邦博(同志社大4)  | 64.68 |
| 2位  | 江浪 雅延(立命館大1)  | 64.48 |
| 3位  | 三浦雄一郎(京都産業34) | 63.47 |
| 18位 | 佐藤 慎祐(京都大4)   | 48.98 |

平成21年度新入生名簿

| 名前        | 学部    | 出身高校(都道府県) | パート | 種目・高校ベスト                            |
|-----------|-------|------------|-----|-------------------------------------|
| <b>男子</b> |       |            |     |                                     |
| 浅井 健介     | 教育    | 奈良(奈良)     | 中   | 800m 1' 59" 48 1500m 4' 12          |
| 阿部 弘規     | 工     | 豊橋東(愛知)    | 長   | 5000m 16'                           |
| 川端 洋人     | 理     | 大手前(大阪)    | 跳   | 走幅跳 6m15                            |
| 桐山 真臣     | 工     | 清風南海(大阪)   | 短   | 400m 51" 87                         |
| 毛芝 雄己     | 農     | 西大和学園(奈良)  | 長   |                                     |
| 瀧瀬 悠介     | 法     | 東海(愛知)     | 長   | 800m 2' 03" 43 1500m 4' 11          |
| 神埜 勝      | 農     | 川西緑台(兵庫)   | 中   | 800m 2' 03" 73 1500m 4' 20          |
| 河本 聡      | 医     | 岡山城東(岡山)   | 中   |                                     |
| 小段 裕太     | 医     | 高津(大阪)     | 短   | 100m 11" 41 200m 23" 09 400m 51" 71 |
| 清水 宏幸     | 理     | 岡山城東(岡山)   | 短   | 100m 12" 1 400m 54" 6 400mH 58" 4   |
| 宿利 隆司     | 工     | 光陵(神奈川)    | 中   | 800m 2' 01" 3 1500m 4' 13           |
| 高田 裕人     | 工     | 宝塚北(兵庫)    | 長   | 1500m 4' 40                         |
| 永田 和寛     | 教育    | 半田(愛知)     | 長   | 5000mW 23' 05 10000mW 46'           |
| 橋本 匠平     | 工     | 長崎南(長崎)    | 短   |                                     |
| 長谷川 聡     | 理     | 灘(兵庫)      | 短   | 400m 52" 2                          |
| 藤澤 健斗     | 農     | 秋田(秋田)     | 短   | 100m 10" 92                         |
| 不破 佑太     | 法     | 洛南(京都)     | 長   | 3000mSC 9' 41" 0                    |
| 堀田 孝之     | 医     | 大手前(大阪)    | 短   | 800m 1' 59" 92 1500m 4' 12          |
| 眞武 俊輔     | 工     | 西大和学園(奈良)  | 短   | 100m 11" 18                         |
| 水元 惟暁     | 農     | 藤島(福井)     | 中   | 800m 1' 58" 1500m 4' 06             |
| 四辻 諒平     | 農     | 洛南(京都)     | 中   | 800m 2' 17                          |
| <b>女子</b> |       |            |     |                                     |
| 伊藤 聡子     | 工     | 茨木(大阪)     | マネ  |                                     |
| 伊藤 慶紗     | 農     | 益田(島根)     | 長   | 3000m 11' 27                        |
| 岩橋 優      | 農     | 大手前(大阪)    | 中   | 800m 2' 12" 77 1500m 4' 37" 99      |
| 加奈山憲代     | 医     | 清風南海(大阪)   | 短   |                                     |
| 倉田 恵里     | 京女    | 津(三重)      | マネ  |                                     |
| 渡辺 菜月     | 同大    | 時習館(愛知)    | マネ  |                                     |
| <b>院生</b> |       |            |     |                                     |
| 藤田 俊輔     | 文学研究科 | 関西学院大学     | 短   | 110mH 14" 61                        |



---

蒼穹ニュース 平成21年度 第2号  
平成21年5月25日 発行

---

発行所：京都大学体育会陸上競技部  
編集者：白石晃将・田中皓介・山口芳弘（副務）  
特別協力：宿院 享・鈴木大河（学連員）  
内田健弥（記録係）・秋元一志（HP 係）  
写真担当：大橋正義・松井大門・塚本裕

---

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>  
ミラーサイト <http://tandfkyoto.web.fc2.com/>  
陸上競技部記録 HP <http://tandfkyoto.web.fc2.com/kiroku/index.htm>  
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/icaak/index.htm>  
メールアドレス [y-yoshihiro@art.email.co.jp](mailto:y-yoshihiro@art.email.co.jp)(山口芳)



